

やまめ

136号

五木村議会だより 2021.4.30発行



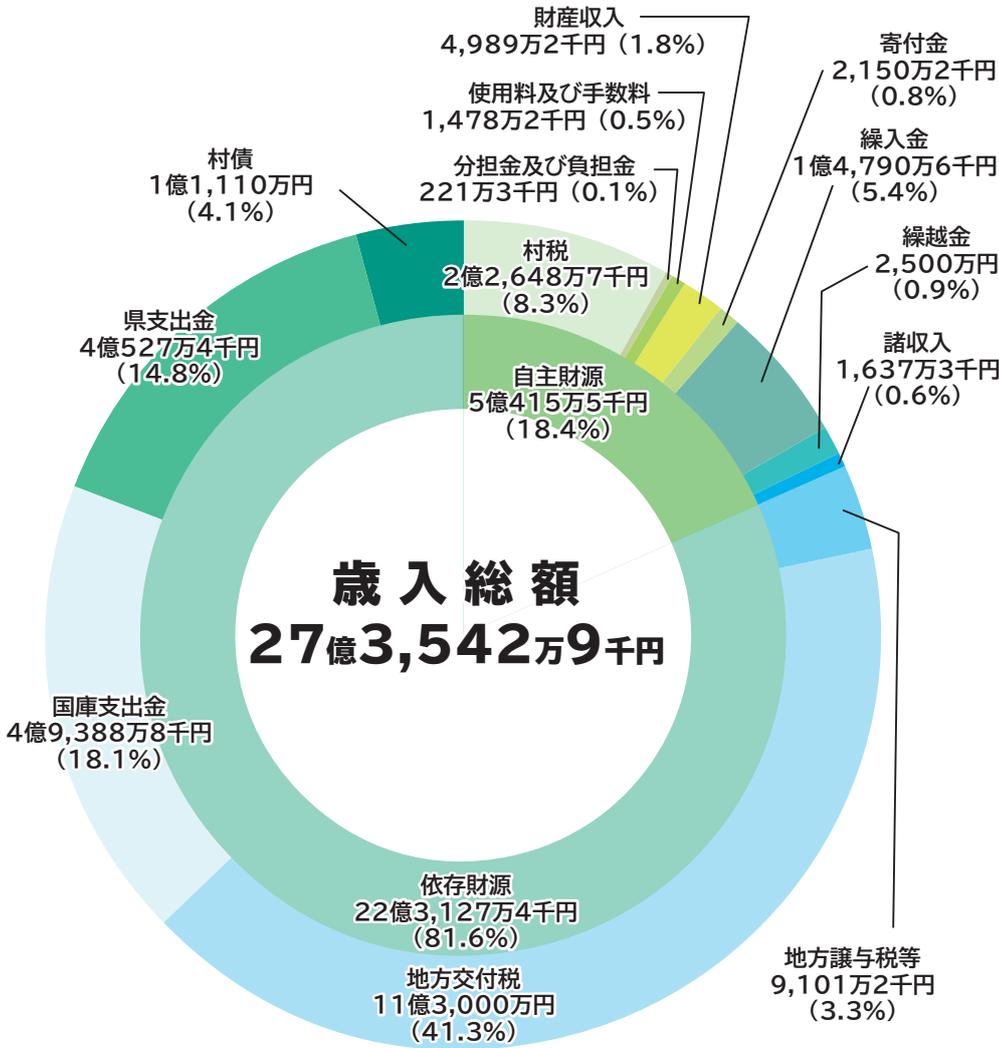
五木東小 遠足の様子

- 令和3年度 当初予算 27 億 3,000 万円 (3月議会定例会)
- 村内の商店の継続支援は (一般質問)
- 消防団長に聞きました (村人インタビュー)

どう描く

27億円

新年度 予算



令和3年、第1回定例会を3月9日(火)から16日(火)まで8日間、開催。内容は、人事案件2件、条例の制定1件、条例の一部改正4件、令和2年度補正予算6件、令和3年度当初予算10件の計23件、また最終日には人事案件が1件追加。

提案された全議案は、原案のとおり可決成立した。

また、一般質問では、5人の議員が政策課題、財政、新型コロナウイルス感染症対策等を執行部に質した。

当初予算と人口の推移

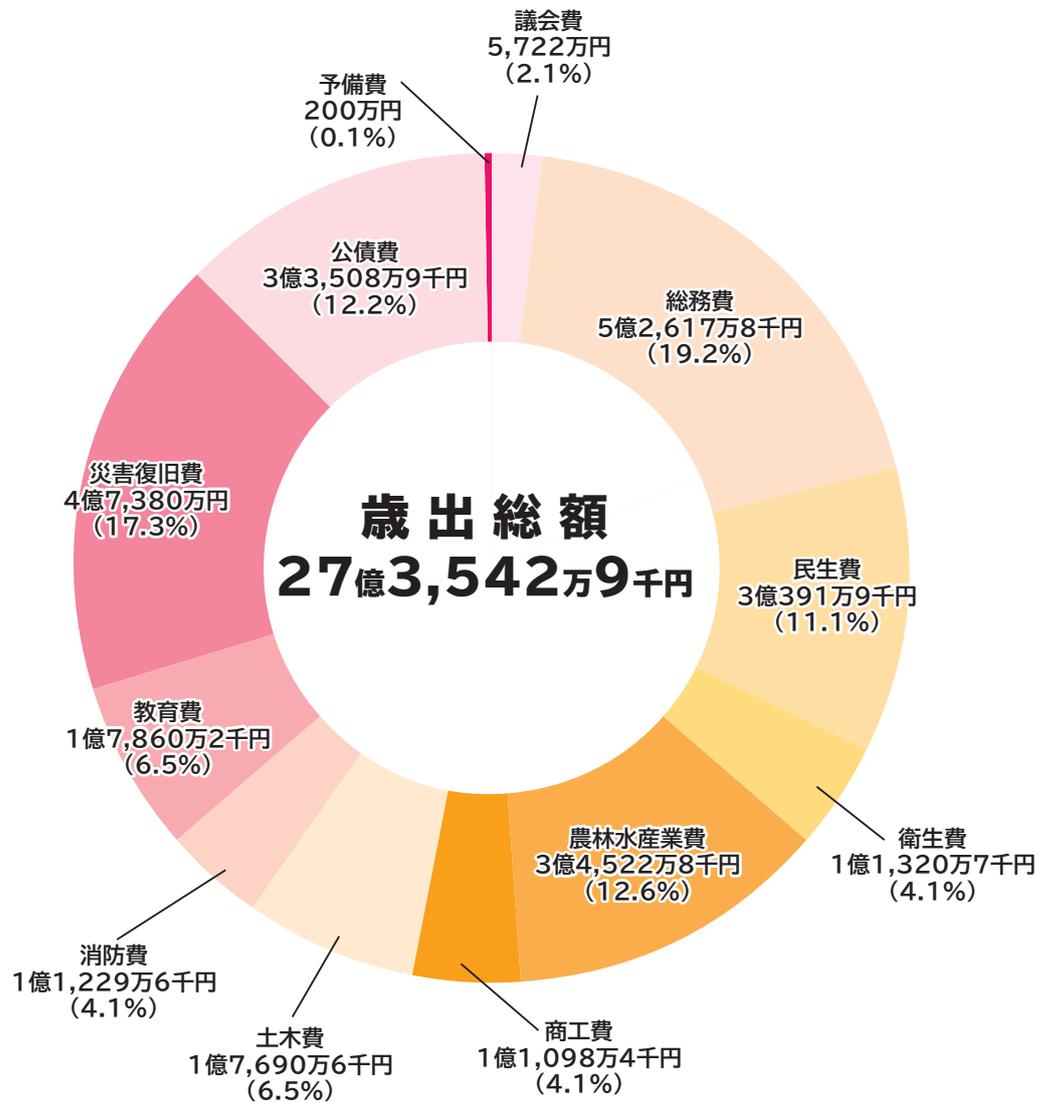


令和3年 第1回定例会

未来の姿を

令和3年度当初予算について、木下村長は、第6期五木村基本構想の実現を目指し、村の課題である人口減少・少子高齢化に起因する地域コミュニティの再構築と産業振興に対応するため、「村民参加の着実な産業振興と暮らし改革」を推し進める予算編成の基本方針を示し、特に以下4項目を重点的に今回の定例会に提案した。

- 〈重点項目〉
1. 雇用の場の確保に関する施策。
 2. 高齢者の総合的サポートおよび移動手段に資する施策。
 3. 林業や観光などの産業分野に資する施策。
 4. 「流水型ダム構想」に対応する施策。



令和3年度当初予算対前年度比較表

(単位：千円)

会計名	令和3年度	令和2年度	対前年度	
			増減額	増減率 (%)
一般会計	2,735,429	2,322,502	412,927	17.8
国民健康保険特別会計	184,241	168,825	15,416	9.1
ダム対策事業特別会計	308	325	△ 17	△ 5.2
簡易水道事業特別会計	38,626	17,947	20,679	115.2
農業集落排水事業特別会計	13,704	12,755	949	7.4
介護保険特別会計	229,807	211,488	18,319	8.7
代替地上下水道事業特別会計	17,528	15,300	2,228	14.6
後期高齢者医療特別会計	25,995	25,623	372	1.5
墓地公園特別会計	321	286	35	12.2
情報通信事業特別会計	39,768	35,457	4,311	12.2
特別会計 小計	550,298	488,006	62,292	12.8
合計	3,285,727	2,810,508	475,219	16.9

見てみよう令和3年度予算（歳入）

令和3年度一般会計予算は、27億3,542万9千円で可決しました。

その中の歳入 ・自主財源 5億415万5,000円
 ・依存財源 22億3,127万4,000円となっています。

そこで、依存財源の内、熊本県から五木村へ、補助金、負担金、委託金として
 ・4億527万4千円が入って来ます。その内容を見てみました。

(単位：円)

県負担金	3,309万円	民生費負担金	27,388,000
		衛生費負担金	3,000
		後期高齢者医療	5,702,000
県補助金	3億6,547万円	総務費	土地、電源立地、地籍 65,510,000 五木村振興（ふるさと計画） 68,457,000 五木村振興（再建計画） 81,844,000 社会保障・税番号 720,000 球磨川水系防災、減災 4,786,000 熊本地震復興 9,280,000
		民生費補助金	2,795,000
		衛生費補助金	853,000
		農林水産費補助金	65,986,000
		教育費補助金	2,947,000
		災害復旧費補助金	62,300,000
県委託金	670万円	総務費委託金	6,503,000
		農林水産業費委託金	200,000
支出金県	合計		405,274,000

令和3年度当初予算 主な新規事業

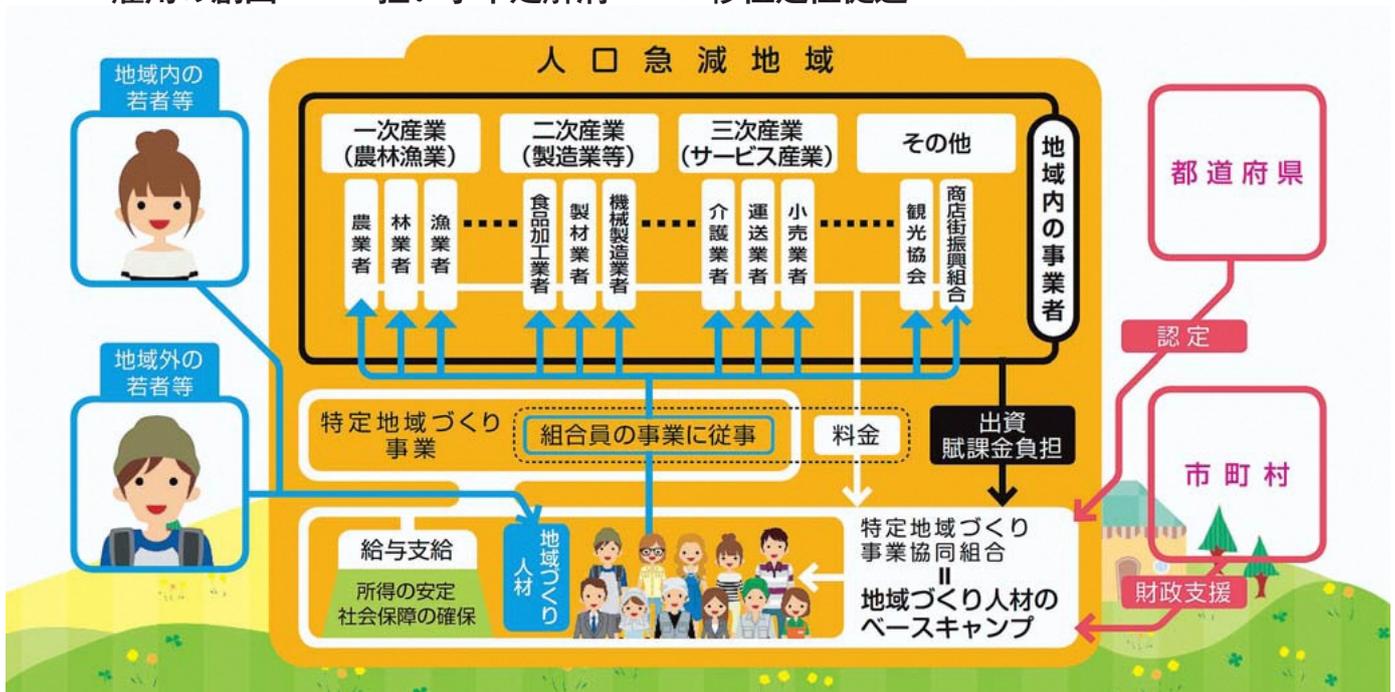
1. 特定地域づくり事業協同組合制度

・特定地域づくり事業協同組合設立補助金 事業費：300万円

「1事業者では年間を通じた仕事がないが、繁忙期には人材を確保したい。」「閑散期には休みが多く、安定的な収入が確保できない。」といった事業者と求職者をつなげる制度。

<期待されること>

・雇用の創出 ・担い手不足解消 ・移住定住促進



特定地域づくり事業協同組合の運営イメージ

仕事の組み合わせ例



(https://www.soumu.go.jp/main_content/000679335.pdf より画像切り抜き)

2. 五木村の森林・林業の普及啓発活動

- ・五木産材PR活動業務委託 事業費：700万円
 - ・五木村モデル林森林整備委託 事業費：100万円
 - ・森林環境保全普及啓発委託 事業費：300万円
- 成熟した木材資源の活用や、村有林を人工林のモデルとして整備し、人的交流の場を整備する。



3. 新型コロナウイルス感染症に対応した「五木の祭り」

- ・五木の祭り実行委員会助成金 事業費：1000万円
- 新型コロナウイルス感染予防対策を講じて、四季を通じて五木の魅力を発信する持続可能な祭りを開催。また、村民が主体となり企画運営する祭りとする。



議案名	岡本 精一	早田 吉臣	藤本 新一	中村 俊也	黒川 麻里子	川邊 正美	西村 久徳	審議結果
議案第3号	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第4号	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第5号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第6号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第7号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第8号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第9号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第10号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第11号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第12号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第13号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第15号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第16号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第17号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第18号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第19号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第20号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第21号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第22号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第23号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第24号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第25号	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第26号	×	○	○	○	○	○	×	原案同意 賛成多数

人事案件



教育長
にし りゅうさぶろう
西 龍三郎 氏

固定資産評価審査委員会委員 よしまつ たけし 氏
固定資産評価審査委員会委員 おがた さとる 氏
吉松 猛 氏
尾方 哲 氏

村道災害復旧工事に 3億1千3百万円の補正

第1回
臨時会

令和2年7月豪雨で被害を受けた村道の災害復旧工事3億1千3百万円の補正予算、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保の関連費用として3百38万6千円を全会一致で可決した。

令和3年1月29日、第1回五木村議会臨時会を開会。会期を1月29日の1日限りとして、五木村一般会計予算に3億8千8百12万2千円を追加し、総額35億8千5百20万2千円を上程し、議題とした。

一般会計補正の内容は、令和2年7月豪雨で被害を受けた村道災害復旧工事3億1千3百万円、村道災害復旧工事測量設計業務委託料1千8百万円、元井谷川河川災害復旧工事4千2百万円、林業振興基金積立金7百万3千円、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保の関連費用として3百38万6千円、村有林素材生産間伐事業業務委託料として3百27万8千円を計上。また、「指定管理者の指定」は五木村診療所の管理者を指定するもので、提案された2議案は全会一致で可決した。



元井谷川の災害状況

議案審議の結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	岡本 精二	早田 吉臣	藤本 新一	中村 俊也	黒川麻里子	川邊 正美	西村 久徳	審議結果
議案第1号 指定管理者の指定について(五木村診療所)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成
議案第2号 令和2年度五木村一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

令和2年度五木村一般会計補正予算 137 万8千円を追加し 38億3593万7千円

第2回
臨時会

令和3年5月7日で任期満了となる「監査委員の選任」、既決予算に歳入歳出それぞれ137万8千円を追加する「令和2年度五木村一般会計補正予算(第9号)」を全会一致で可決した。

令和3年3月29日、第2回五木村議会臨時会を開会。会期を3月29日1日間限りとして、五木村一般会計予算に137万8千円を追加し、総額38億3593万7千円。また、人事案件では令和3年5月7日に任期満了となる監査委員の選任についての議案が上程され2議案とも全会一致で可決した。

一般会計補正の主なものは、新型コロナウイルスワクチン接種記録システム改修委託料76万6千円、ヤマメ養殖施設指定管理料50万円などが計上された。

監査委員は牛草敏憲氏(人吉市)が選任された。



新型コロナウイルスワクチン接種模擬訓練の様子

議案審議の結果

賛成…○ 反対…× 欠席…欠

議案名	岡本 精二	早田 吉臣	藤本 新一	中村 俊也	黒川麻里子	川邊 正美	西村 久徳	審議結果
議案第27号 監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	原案同意 全員賛成
議案第28号 令和2年度五木村一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	原案可決 全員賛成

村内の商店が継続できる支援が必要では

木下村長 買い物弱者等対策が重要で商工会と協議したい



藤本 新一 議員

ふるさと五木村づくり計画について

質問 人口が減少する中で、今回の計画で人口構成、生産年齢人口等どのような計画をされるのか村長の考えは。

村長 五木村の振興は道半ばで令和5年度まで計画期間が延長されている。直近の人口が1,028人、生産年齢人口449人、14歳までが70人で目標値を設定し取り組んでいる。

質問 生産年齢人口を増やすことが重要であり、計画で取り組むことは。

村長 雇用の場の確保が重要であり、就業環境の改善または既存の企業を含め総務省の

制度「特定地域づくり事業協同組合制度」に取り組み支援を考えている。

質問 五木村には結婚適齢期の方も多い。人口を増やすには政府が勧めるA-婚活の情報収集して取り組む考えは。

村長 情報を収集して対策をしたい。

質問 全国小さな村67サミットに参加されており、参考にして取り組む必要がある。

村長 全国7つの村での取り組みで、五木村はその中で人口が一番多い。大川村は人口が500人程度で地域づくり等を取り組んでおり、参考にしたいと考えている。

質問 県の五木村振興推進条例の中で、五木村は国、県の政策に一方的に翻弄されてきたと書いてある。この条例は川辺川ダム建設計画で大きな影響を受けた五木村の振興が必要と謳ってある。県に強く

雇用の場を要望する必要があると思うが。

村長 五木村の課題をしっかりと県に伝え、支援を受けるように取り組みたい。

質問 村内で生活用品を買いなくなる心配がある。また人口減少や高齢化が進む中で既存の商店は廃業も考えられ

村長 既存商店は地域の拠り所である。また買い物弱者支援等も重要で商工会と協議をし政策を作りながら支援していきたい。

質問 地元商店は高齢者宅に一品でも届けており、収益がない中でも住民サービスのため頑張っておられる。何らかの支援が必要と思うが。

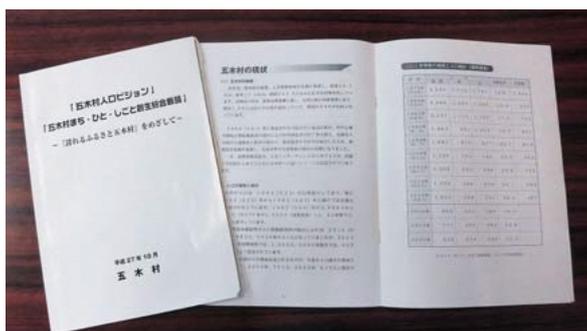
村長 各商店の努力により賄っておられる。買い物弱者を支える上で重要な問題で、政策をつくりながら支援をしていきたい。

質問 我が村は広範囲に集落が点在しており、いろいろな面でコスト高である。集落の集約化に取り組みが必要と思うが。

村長 集約化はその地域に住んでおられる方々のご意見を慎重に伺いながら進める考えである。

質問 先進事例もある。移転して良かったといわれている。今後計画をして実施する考えは。

村長 県とも協議をし、村全体的になるが対応したいと思う。



五木村人口ビジョンと基本構想

五木ダム建設は

木下村長 強く要望していきたい

川辺川ダム復活について

質問 半世紀に渡る川辺川ダム問題、今回は治水専用とあるが、いつ着工し、いつ頃完成の見通しか。国・県に、計画の透明性と見通しを示してもらい、村民に不安と混乱がないよう十分に説明すべきではないか。

村長 1月26日に開催された第3回球磨川流域治水協議会では、今後5年から10年程度で実施する緊急治水プロジェクトの概要が示された。流水型ダムは国において令和3年度に調査・検討を本格化するということであるが、まだ場所、概要も示されていない。村の振興に直結する話なの

で、早く示すよう国・県に要望している。

質問 国・県は川辺川ダム復活については強調しているが、平成8年に取り決めた五木ダムについて、国・県から五木ダムの話がない。どうなっているのか。また、五木小川や梶原谷にも大きな砂防が必要と思うが。

村長 五木ダムは水特法にも謳ってあり、7月豪雨災害をみると河床も上昇している。強く要望していきたい。五木小川、梶原川等についても砂防事業等についてしっかりと要望していく。



西村 久徳 議員



水没予定地

質問 もし、穴あきダムで2つの発電所、1つのダムがなくなると貴重な財源である大口の固定資産税5,000万円相当が入ってこなくなるのでは。

村長 税収が大きく減ってくるので、代替の財源確保を国・県に要望していく。

道の駅の経営について

質問 道の駅は、村の産業や観光振興の核である。残念ながら慢性的な赤字である。どのような経営改善を図られるのか、村長として、社長としての考えは。

ふるさと振興課長 経営改善計画を策定している。公共性をもった施設であり、一民間企業としての兼ね合いを調整しながら、議会にも相談し取り組んでいきたい。

質問 村から年間委託料としてどのくらい払っているのか。

村長 指定管理料が1,93

0万5千円、委託料等が295万円で合計約2,200万円である。

林業振興について

質問 村長は常に村の主産業は林業であると言っている。昭和40年代には300人以上の森林整備員がいたと記憶しているが、現在は29名しかない。これでは五木全体の山の管理が出来ない。そこで今回の緑の流域治水をきっかけに村の再生を含めて全国から100名程度募集して林業開発青年隊をつくって日本で一番のモデル林業を夢と希望をもって取り組む考えはないか。

村長 村にとって基幹産業は林業である。60年前からの拡大造林から今や伐期に入り新たに植替えや下刈り等の労働者の確保が課題である。林業労働環境を整えながら取り組んでいきたい。また、今年は大径木のモデル林を整備して交流人口を増やして森林整備の必要性も示していきたい。

令和3年度一般会計当初予算編成の基本方針は

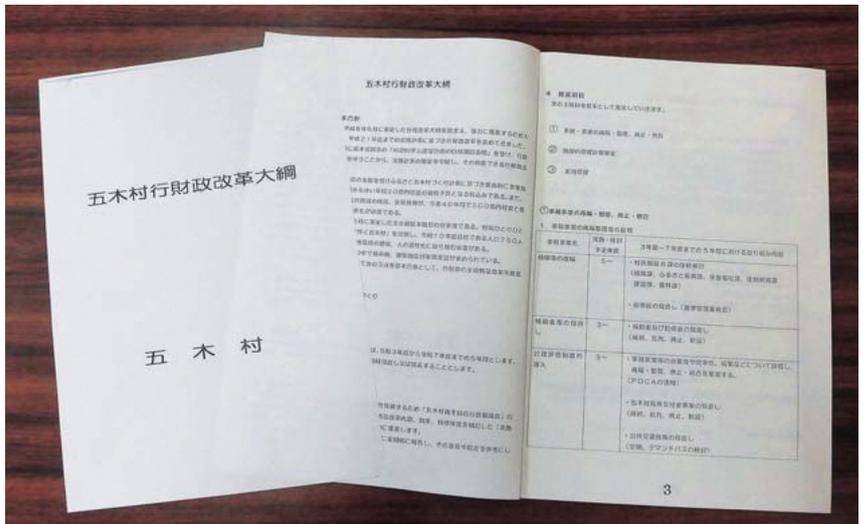
木下村長 「村民総参加の着実な産業振興と暮らし改革」を推し進める



令和3年度一般会計当初予算編成方針

質問 木下村長就任2回目の予算編成の中に、五木村の課題である人口減少・少子高齢化に起因する地域コミュニティの再構築と産業振興に対応するため「村民総参加の着実な産業振興と暮らし改革」を推し進める予算編成を行う基本方針であるが、具体的に、どのような方針か。また、重点項目として次の4項目が

- ① 雇用の場の確保に関する施策
- ② 高齢者の総合的なサポート及び移動手段に資する施策
- ③ 林業や観光など産業分野に資する施策
- ④ 「流水型ダム構想」に対する施策



五木村行財政改革大綱

村長 掲げられている。五木村の課題は人口減少と少子高齢化の改善に取り組む必要がある。また、集落においては、集落維持さえ困難になって

いる現状であり、村民総参加の産業振興を図っていき

たい。
総務課長 答申を受けた行財政改革大綱に基づいて、令和3年度から改革を進めていく。

質問 五木村行財政改革大綱の答申を受けて令和3年度から推進していく計画であるが、どのように予算に反映されているか。
総務課長 令和3年度から検討に入るので、具体的には予算に反映されていない。

質問 新型コロナウイルスの感染予防について
質問 新型コロナウイルスのワクチン接種について、村ではどのような計画を立てているのか。また、今後の感染予防対策は。
保険福祉課長 五木村新型コロナウイルスワクチン接種実施計画により進めていく。

質問 接種計画等については、早く住民にお知らせをしていただきたい。テレビ・新聞等ではコロナ感染予防には、ワクチン接種が大事であると報道されているが。
保険福祉課長 できるだけ早めの情報提供、周知等に努めていきたい。



高齢者住宅は

木下村長 安全な場所を探している



川邊 正美 議員

移住・定住について

質問 「住みたい田舎ベストランキング」2021年2月号で、五木村総合7位となっているが、その後、問い合わせ等はあるのか。

ふるさと振興課長 雑誌の掲載による問い合わせは多少増加している。しかしながら、問い合わせの多くはホームページリニュアルによる閲覧数の増加や移住相談会の開催などの要因が主なもの。雑誌の件が紹介されたことで、県の担当課長から全面的にバックアップしたいとお言葉を頂いている。

質問 どういった内容の問い合わせが多いか。

ふるさと振興課長

家賃はどれくらいかというのが1番多い。子育て世代については子育て助成金等についての問い合わせがある。

質問 移住・定住促進事業の中で、令和3年度の当初予算資料の中に、移住・定住によって人口定着を図りたいとあるが、住宅の確保が必要になってくるのではないか。

ふるさと振興課長 令和3年4月から地域おこし協力隊

に、移住・定住に特化した業務に当たってもらう。また、移住・定住事業の一部を民間に委託することになっている。行政、民間、協力隊と連携を図りながら、全集落の空き家を調査する。今年の9月頃までは現状を把握したい。

質問 村長は移住・定住についての考えは。

村長 空き家バンク制度を活用しながら、掘り起こしを緊急にやりたい。移住・定住者の政策は、人口減少の進む村としては、新しい移住者の方、イターン、Uターンの方も含めて対策にしっかりと取り組んでいきたい。

高齢者住宅について

質問 高齢者住宅について、現在はどのような状況なのか。

村長 宮園に建設するというところで設計図等は出来ているが、昨年7月豪雨以降、安全な場所の選定を行っている。

質問 高齢化率が上がってくる中で高齢者福祉は大変重要だと思いが。

村長 高齢化率も上がってきて福祉の重要性も増している。高齢者住宅棟の整備も急がなければと考えている。それと同時に高齢者福祉のほうで介護福祉施設等の検討に今年から入らせていただきたいと考えている。

質問 今後、五木村振興の中で、定住・移住者の住宅問題等を県に強く働きかけていく考えは。

村長 県のほうにも強く働きかけをやっていききたい。

2021年版 第9回「住みたい田舎」ベストランキング

村(総合部門)

1位	長野県	宮田村	82.93点
2位	長野県	木島平村	78.40点
3位	長野県	青木村	68.34点
4位	長野県	松川村	65.25点
5位	山梨県	丹波山村	60.80点
6位	群馬県	孺恋村	60.27点
7位	熊本県	五木村	60.17点
8位	福島県	飯館村	56.45点
9位	長野県	白馬村	54.54点
10位	宮崎県	諸塚村	53.13点

- 子育て世代が住みたい田舎部門 第8位 五木村
- 若者が住みたい田舎部門 第5位 五木村

資料：田舎暮らしの本(2021年2月号)

振興公社の位置づけは

木下村長 村をリードしていく民間会社



早田 吉臣 議員

当初予算について

質問 令和2年度までの事業の検証は。

村長 コロナ禍の中、7月の豪雨災害などもあったのでその対応で、当初計画した交流事業、観光事業などが中止となった。令和2年度については各事業所へのコロナ禍の影響を最小限に食い止める一年だったと思う。

質問 令和3年度に持つべき新たな生活様式の目標は。

村長 災害やコロナ禍において課題があり林業振興、教育、いろいろな産業を各課ができるものから、令和3年度から取り組もうと今回予算計上している。

質問 基幹産業として林業の取り組みとして、大径木モデル林とあるがその長期計画とは。

村長 モデル林として大まかな選定は行っている。純村有林で樹齢が60年から70年位で整備して都市との交流として高齢者から子供さんまでゆっくり五木の良さを満喫してもらいたい。

質問 人材育成として林業大を卒業した後、五木に就業する関連の予算は。

村長 今回林業大に8人来ていただく。1人でも五木の林業従事者になってもらう政策を行っていききたい。

質問 林業大を卒業した後、受け入れた事業体に支援をする施策は。

村長 森づくり検討委員会や事業所の方との会議の場など意見を聞きながらできることは支援をしていきたい。

質問 以前、村長は集落支援として、タブレットを使った

C T活用の支援導入を考えていると言っていたが。

村長 集落支援としてICT活用の検討をおこなっている。告知端末をタブレット型にして双方向で住民サービス、行政サービスにと考えている。

質問 LINEなどで顔を見ながら無料通話出来る機能もある。そのようなアプリケーションを活用する考えは。

村長 アプリをタブレットに入れていくという事例も聞いているので、総務課で検討を行っている。

五木村振興公社について

質問 五木村振興公社は一般財団法人である。その位置づけは。

村長 平成4年に発足し、民法の改正で平成25年3月に県から一般財団法人として認可を受けた。税を納めながら行うということで民間の会社としてスタートした。

質問 定款第3条には「五木村における住民サービスの向上及び村民の福祉向上に寄与するとともに、地域経済の発展に寄与し、五木村の円滑な行政運営に資する事を目的とする」とあるが、それに照らし合わせると今の状況は疑問点が残るが。

村長 移行するときに公益目的の財産として150万円を毎年70数年に渡り約1億円を村に返済ということが公益目的支出のために必要ということと理解している。

質問 五木村振興公社は受託事業で行政運営を円滑にすることが目的で、公社のあり方として一般の会社とは違うと思うが。

村長 五木村をリードしていく中核の民間会社と信じている。



振興公社車両倉庫



×事前運動の禁止
告示日より前に投票を呼びかける

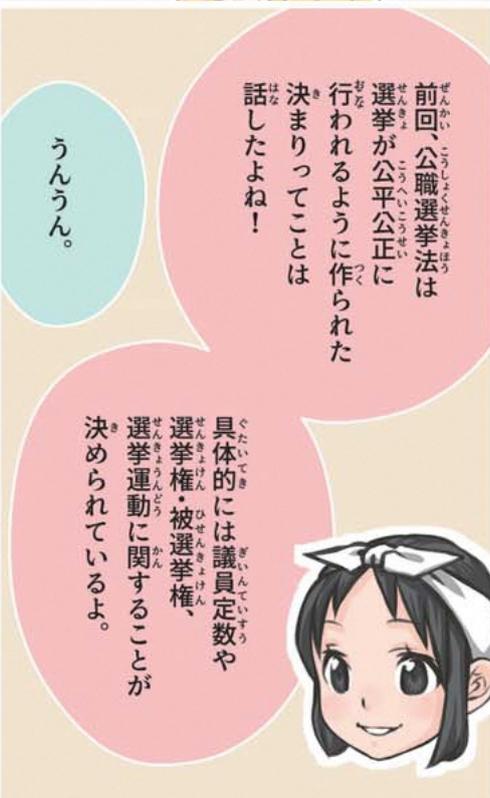
×戸別訪問の禁止
個人宅を訪問しての投票の呼びかけ

×買収の禁止
金品を渡し投票を依頼する



さて、今回も
公職選挙法に
ついてだよ！

はい！



前回、公職選挙法は
選挙が公平公正に
行われるように作られた
決まりってことは
話したよね！

うんうん。

具体的には議員定数や
選挙権・被選挙権、
選挙運動に関することが
決められているよ。



特に選挙運動に
関する決まりは
厳しくて、
例えば
こんなことが
あるよ。

なんでこんなに
決まりがあるの？



制限がなかったら
お金や時間に
余裕のある人が
有利に
なっちゃうでしょ。

たしかにー！

立候補する人が
同じ条件で
戦うことで
公平な選挙を
実現させるんだよ。

だから
公職選挙法が
必要なんだね！



あれから
どうなった？

国道 445 号九折瀬工区

これまで、川辺川ダム建設に伴う付け替え国道として国土交通省が旧国道を整備していたが、平成24年度から県が引継ぎ、現在整備を行っている。さらに今後は、神屋敷トンネル上流部の整備が予定されている。

また、令和3年3月完成予定だった村道神屋敷線は、現在、

熊本県が進めていた国道445号九折瀬工区（1.5km）のうち、新設されたアーチ橋の「九折瀬橋」から神屋敷トンネルまでの430m区間が3月31日に開通した。

3月27日には、県主催の「国道445号九折瀬工区工事報告会」が、金子恭之衆議院議員、松田三郎県議会議員、緒方勇二県議会議員、木下村長、村議会議員、関係区長出席のもと開催され、これまでの経緯等について報告があった。その後、現地を視察した。

工事施工中であるが、令和2年7月豪雨により、災害復旧を優先したため、今年8月完成予定となっている。今回の一部開通により、住民の方々の生活道路として、また、観光産業や人的交流に寄与するものと思われる。しかし、更なる交通便利性の向上と産業振興、災害時の迂回路など、神屋敷トンネル上流側と村道神屋敷線の早期完成を望むものである。



供用開始された国道445号と九折瀬橋



すぎやま けさお
杉山今朝生さん(宮園)

五木村消防団 トップに聞く!!

①自己紹介。

令和2年度から五木村消防団長に就任した杉山今朝生です。消防団に入団し、40年程になります。五木村の安全・安心の為に頑張りたいと思います。

今現在、五木村振興公社に勤務しています。

②現在の消防団員数や消防団での取り組みなどを教えてください。

現在の団員数は、93名(基本団員78名、機能別団員15名)です。各分団、団員減少で、第3分団2部(二浦地区)は基本団員2名、機能別団員6名で頑張っ

ています。
今、コロナ禍で消防団活動がなかなか出来ません。今年10月に防災ヘリ訓練を計画しています。

③昨年7月の豪雨災害や台風接近時など大変お世話になりました。災害や火災予防に対する備えについて心がけていることは。

昨年7月の豪雨災害時、各団員には、分団長指揮のもと、各地区の災害状況、村民の安全確認又は村民の誘導、被災箇所への対応等いろいろと頑張っていたいただきました。
予防活動に対する備えは「要因動員力」、「即時対応性」、「地域密着」だと思います。

④消防団員加入や消防団のPRをお願いします。

消防団員減少の一つは、若い村民が少ない事だと思います。しかし、まだ対象者が村内にも見受けられます。
五木村民、家族、仲間の為に私たちと一緒に消防団活動をやってみませんか。

議会の動き(1月~3月)

1月

- 6日 定例全員協議会(全議員)
広報委員会(第1回)
- 14日 広報委員会(第2回)
定例郡議長会議(岡本議長)
- 18日 郡体育協会理事会(岡本議長)
- 20日 広報委員会(第3回)
- 21日 例月監査(中村監査委員)
- 25日 広報委員会(第4回)
- 29日 第1回議会臨時会(全議員)
臨時全員協議会(全議員)

2月

- 3日 県理事会(岡本議長)
- 5日 定例全員協議会(全議員)
- 9日 臨時全員協議会(全議員)
- 12日 定例郡議長会議(岡本議長)
- 15日 人吉下球磨消防組合議会研修会(岡本せ議員)
- 16日 臨時全員協議会(全議員)
- 19日 県定期総会(岡本議長)

- 19日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会(川辺議員)
- 24日 例月監査(中村監査委員)
- 25日 人吉下球磨消防組合議会定例会(岡本せ議員)
- 26日 第1回人吉球磨広域行政組合議会定例会(黒川・川辺議員)

3月

- 1日 議会運営委員会(各委員)
- 3日 定例全員協議会(全議員)
- 9日 第1回議会定例会開会(全議員)~16日閉会
- 17日 臨時全員協議会(全議員)
- 19日 人吉球磨広域行政組合議会運営委員会(川辺議員)
- 23日 県監査委員定期総会及び研修会(中村監査委員)
- 24日 定例郡議長会議(岡本議長)
例月監査(中村監査委員)
- 25日 第1回人吉球磨広域行政組合議会定例会(黒川・川辺議員)
- 27日 R445号九折瀬工区工事報告会(全議員)
- 29日 第2回議会臨時会(全議員)
広報委員会(第1回)

つぶやき

3月、4月は「卒業」、「入学」、「退職」、「入社」など節目の時事である。それぞれ「思い」を抱きながら過ごされていることだろうか。

五木村もダム問題が二転三転して、村民も不安でおられると思う。流水型ダム建設の規模や位置については発表されていないが、令和3年度から調査・検討に入ると紙面には出ている。何れ発表されるだろうが、五木村は下流域住民のために苦渋の決断をして多目的ダム建設を認めた経緯がある。

五木村が認めた多目的ダム建設は、蒲島知事が国に廃止を求め、流水型ダム建設を要望された時点で終わったと思っている。流水型ダム建設は、新たなダム建設と捉えているので、村民の民意はどうなのか、意見聴取する必要があると思っている。これは村づくりを揺るがす大きな問題なので、特にこれから村を背負っていかねばならない若い世代の意見は重要である。

7月には村議会議員の改選も行われる、立候補に迷っておられる人は、勇気を出して一歩踏み出し、多くの村民が挑戦して、村を活性化してほしいものだ。

岡本 正



笑顔あふれる五木っ子

VOL.5

五木村議会だより

やあめ

136号

2021.4.30発行

ぼくのふるさと五木村



五木東小学校 6年
新坂 しんざか 祐斗 ゆうと くん

ぼくの五木村の好きなところは、この大自然です。夏の新緑、秋の紅葉など、美しい自然がいっぱいあります。頭地などの新しい集落をみると、五木村が緑あふれる地であることを、つい忘れてしまいそうになりますが、この美しい自然をなくさないようにしたいです。

五木村のステキなところ



五木東小学校 6年
中村 なかむら 雄人 ゆうと くん

ぼくの、五木村の好きなところは、村の人たちが優しいことと、緑が豊かなことです。毎日、優しく接してくれたり、ぼくたちのことを考えてくれます。あいさつをすると、まるで自分の子のように、「学校は楽しかった。」と話しかけてくれます。間近に迫る緑の山々、秋に

月 日 曜日 日直

なると山はカラフルに染まり、見ている人の心がさわやかになります。

このようなステキな五木村が絶対に無くならないよう、将来人口がもっと増えて楽しい村になるようにしたいです。

そのために、絶対にゴミを捨てないようにします。美しい自然が残る五木村を、いつまでも大切にしたいです。



次回の定例会は6月上旬の予定です。皆様の傍聴をお待ちしております。

表紙題字：故 尾方 芳郎氏

発行責任者 五木村議会
編集 議長 岡本 正
議会広報委員会
TEL(0966)3712352
〒800-0201 熊本県球磨郡五木村甲2672-7